

関係各位

公益財団法人長寿科学振興財団

令和6年度 長寿科学研究等支援事業

「長生きを喜べる長寿社会実現研究支援」及び「国際学会派遣事業」の公募について
(お願い)

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素から当財団の事業運営に格別のご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当財団では令和6年度の長寿科学研究等支援事業を別紙案内のとおり公募します。大変恐縮ではございますが、当事業に該当する方がいらっしゃいましたら、この公募についてご案内くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

また、この公募についてご所属の団体のホームページやメールニュース、SNS 等で広くご紹介くださいましたら幸いに存じます。

記

●令和7年度助成 「長生きを喜べる長寿社会実現研究支援」公募

公益財団法人長寿科学振興財団は、財団ビジョン「長生きを喜べる長寿社会の実現～生きがいのある高齢者を増やす～」を達成するため、長寿科学研究者等支援事業「長生きを喜べる長寿社会実現研究支援」を実施しています。本事業は課題解決になる実用的な方法の研究開発から本格的な社会実装を含めた課題解決型のプロジェクトを採択し、支援するものです。

助成金額:年間上限 3,000 万円

採択件数:0~2 件

●令和6年度 「長寿科学関連国際学会派遣事業」公募

本事業は、海外で開催される長寿科学関連国際学会に日本国内において長寿科学に関する研究で優れた研究成果をあげる若手研究者又は有望な研究を行っている若手研究者を研究発表のために派遣し、長寿科学研究の国際協力・国際交流に資することを目的とし、かつ我が国の研究の中核となる人材育成に寄与するものです。

助成金額:一人 20 万円

採択人数:10 名程度

公募概要

公募の概要は当財団のホームページをご参照ください。

<https://www.tyojyu.or.jp/>

以上

お問合せ

〒470-2101 愛知県知多郡東浦町大字森岡字源吾山 1-1
あいち健康の森 健康科学総合センター4階
公益財団法人長寿科学振興財団 事業推進課 (久野・實来)
・TEL:0562-84-5411 E-mail:research@tyojyu.or.jp

公益財団法人 長寿科学振興財団

— 令和6年度(令和7年度助成) 長寿科学研究者支援事業 —

長生きを喜べる長寿社会実現研究支援

提案公募のご案内



長生きを喜べる
長寿社会を
めざして



助成金額

年間上限
3,000万円

採択件数

0 ~ 2件程度
実効性のある提案を採択します

提案書受付期間

令和6年7月3日(水) ~ 7月31日(水)

国際学会派遣事業

申請公募のご案内



助成金額

1人 **20万円**

採択人数

10名程度

申請書受付期間

令和6年5月15日(水) ~ 6月30日(日)

本事業の公募要領や提案方法については中面の財団ホームページでご確認ください。

●令和7年度助成

「長生きを喜べる長寿社会
実現研究支援」公募は
こちらからご覧になれます。⇒



●令和6年度

「長寿科学関連国際学会
派遣事業」公募は
こちらからご覧になれます。⇒



目的

当財団は「長生きを喜べる長寿社会の実現～生きがいのある高齢者を増やす～」を主課題として掲げ、その実現のために課題解決となる研究開発・社会実装を行い、政策提言に向けた助成事業「長生きを喜べる長寿社会実現研究支援」(本事業)をすすめています。本事業は主課題を実現するため、課題解決になる実用的な方法の研究開発から本格的な社会実装まで取り組める課題解決型のプロジェクトを採択し、支援します。

主課題

長生きを喜べる長寿社会の実現

～生きがいのある高齢者を増やす～

キーワード

- ① 高齢者のQOL・生きがい・健康・活力のエンパワメント
- ② 弱っても安心して生き生き過ごせるまちづくり
- ③ 認知機能が低下しても個人の尊厳を尊重した普段の生活における様々な意思決定支援
- ④ 高齢者にやさしいテクノロジー・デジタル技術の開発・実実装



事業運営 イメージ

本事業は多様な段階から開始するプロジェクトを支援するため、AからDの4つの分類を設けています。プロジェクトは毎年継続の審査があり、確実に社会実装し、持続可能な事業化を重視するとともに社会貢献、地域貢献となるプロジェクトを求めています。提案時には、AからDの分類の中でプロジェクトを開始する段階を選択してください。本事業は審査評価委員会が、審査・採択を行います。また、採択後は審査評価委員会からの助言等を通じ、プロジェクトを実施する皆様と伴走しながらプロジェクトの目標達成を目指します。

A 探索研究

課題解決方法のアイデアの実現性・実用化が可能かどうか検証を目的とする

年間上限1,000万円
最長2年間

B 実装研究

課題解決方法を実験的に実装・検証を進め、事業化の準備を目的とする

年間上限3,000万円
最長3年間

C 社会実装

事業を本格的に進め、持続可能な仕組みの確立を目的とする

年間上限3,000万円
(助成率は総事業費の3分の1まで)
最長3年間

D 展開

全国展開・新規事業創出につながることを目的とする

年間上限2,000万円
(助成率は総事業費の10分の1まで)
最長2年間

それぞれの分類で求める最低限の成果

課題解決方法の
試作版の完成

課題解決方法の
正式版の完成
外部資金の調達の実現

持続可能な事業の
仕組みの確立

全国展開・海外展開、
他社との協働による
新規事業の創出など

提案者の要件

提案者となるプロジェクトリーダーは、国内の団体（大学、民間企業、地方自治体、社団・財団法人、シンクタンク、NPO団体等）に所属して当該団体においてプロジェクトを実施する体制を組成してください。

スケジュール

- 公募要領公開 ▶ 令和6年5月初旬(予定)
- 提案書受付期間 ▶ 7月3日(水)～7月31日(水)
- 一次審査 ▶ (書面審査)9月下旬
- 二次審査 ▶ (プレゼンテーション審査)10月28日(月)
- 最終審査 ▶ 11月下旬
- 採択通知 ▶ 12月中旬(予定)
- プロジェクト開始 ▶ 令和7年4月1日(予定)

審査評価委員会

委員長 駒村 康平 慶應義塾大学経済学部 教授
副委員長 飯島 勝矢 東京大学高齢社会総合研究機構 機構長
未来ビジョン研究センター教授
委員 秋下 雅弘 東京都健康長寿医療研究センター センター長
委員 阿久津靖子 一般社団法人日本次世代型先進高齢社会研究機構 代表理事

委員 佐藤 久恵 学校法人国際基督教大学 評議員
委員 鎌田 実 一般財団法人日本自動車研究所 所長
委員 近藤 克則 千葉大学予防医学センター 特任教授
医療経済研究機構 研究部長
委員 長谷川友紀 東邦大学医学部 教授

Dispatch of researchers to aging and health science-related international conferences

令和6年度「国際学会派遣事業」公募のご案内

目的

本事業は、海外で開催される長寿科学関連国際学会に優れた研究成果をあげる若手研究者又は有望な研究を行っている若手研究者を研究発表のために派遣費用を助成し、長寿科学研究の国際貢献・国際交流に資することを目的とし、かつ我が国の研究の中核となる人材育成に寄与する。

対象国際学会等開催期間

令和6年9月 1日(日)～
令和7年3月31日(月)

申請受付期間(期間厳守・必着)

令和6年5月15日(水)～
令和6年6月30日(日)



本事業の公募要領や提案方法については財団ホームページでご確認ください。
また本事業に関する情報はメールマガジンにて順次配信します。
ぜひメールマガジンにご登録ください。



長寿科学振興財団

検索



WEB版 エイジング アンドヘルス



財団が発行しているWEB版「エイジングアンドヘルス」において、高齢者が自分らしく生活するためのヒントや“生きがい”につながる知見・取り組みについて特集をしています。本事業の趣旨の理解を深めるためにも是非ご覧ください。



バックナンバーはこちらから
ご覧になれます。⇒

メルマガ 登録の お願い



本事業に関する情報はメールマガジンにて順次配信します。
メールマガジンに是非ご登録ください。

スマートフォンのカメラアプリ等で左のQRコードを読み込むか、
財団ホームページから ご登録ください。

担当者 公益財団法人長寿科学振興財団
事業推進課 (担当: 久野・寶來)

本公募についてのお問合せはホームページからお願いいたします。

財団概要



公益財団法人長寿科学振興財団は、昭和天皇御長寿御在位60年慶祝事業のひとつとして国立長寿医療研究センターの設立と支援を目的に1989年(平成元年)に発足しました。当財団は長寿科学※に関する調査研究の実施・研究の助長奨励・研究成果の普及を促進し、もって国民の健康と福祉の増進に寄与することを目的に公益事業を実施しています。

※「長寿科学」とは長生きを喜べる長寿社会づくりの基盤となる学問であり、高齢者や長寿社会に関し、自然科学から人文社会科学に至るまで幅広い分野を総合的・学際的に研究する学問のことです。

長寿科学研究等支援事業

長生きを喜べる長寿社会実現研究支援

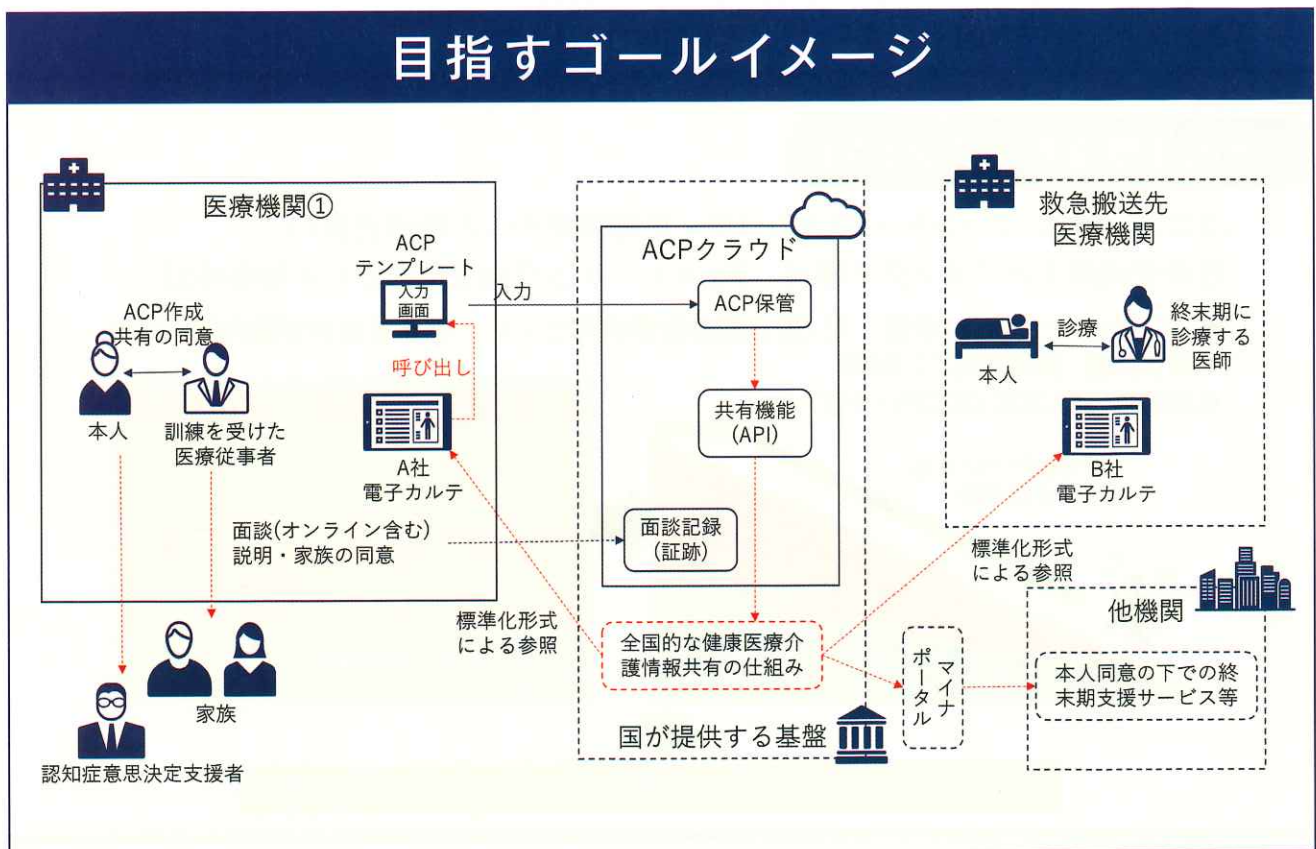
令和4年度から、財団ビジョンを実現するため、課題解決となる研究開発から本格的な社会実装まで取り組む課題解決型のプロジェクトを採択し、支援しています。

令和4年度採択プロジェクト

① アドバンス・ケア・プランニング推進のための共通ICTプラットフォーム構築 ～どこで療養していても高齢者本人の意思が尊重される社会作り～

- プロジェクト代表者：三浦 久幸(国立長寿医療研究センター 在宅医療・地域医療連携推進部・部長)
- 採択分野：探索研究(2年間)
- 助成額：20,000,000円(予定)

目指すゴールイメージ



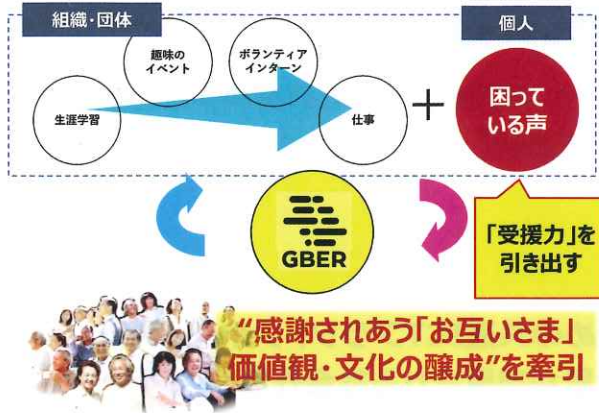
誰もが求める「自分らしく生ききる」ことができるように、本人の意思決定支援、すなわち、アドバンス・ケア・プランニング (ACP) の充実を推進するため、どこで療養していても本人の意向に沿った治療・ケア、緩和ケアが実践され、最期の療養場所についても本人の意向が尊重・共有されるための日本国内の共通ICTプラットフォーム構築を目指しています。

② 貢献寿命延伸への挑戦！

～高齢者が活躍するスマートコミュニティの社会実装～

- プロジェクト代表者：檜山 敦（一橋大学大学院 ソーシャル・データサイエンス研究科・教授）
- 採択分野：実装研究（3年間）
- 助成額：90,000,000円（予定）

貢献寿命の延伸につながるマッチングを推進



地域参加できる予定管理 生活圏内の地域活動を検索 興味関心を手軽に入力

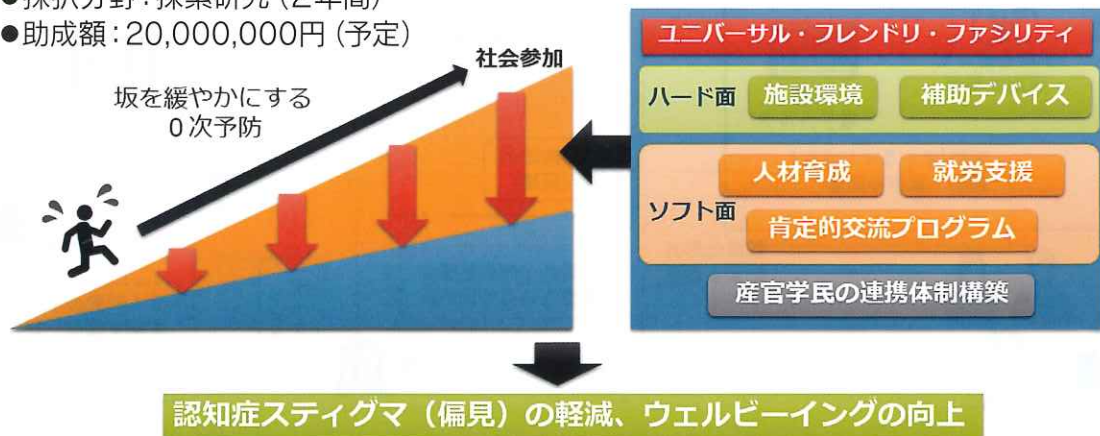
地域の中で役割や居場所を探す高齢者と、仕事やボランティア、生涯学習など様々な地域活動また、サポートを求める住民の声を有機的につなぐ情報プラットフォームとしてGBER（ジーバー）を研究開発し地域での社会実装に取り組んでいます。

本プロジェクトでは、GBERの機能を拡充し、各地域から抽出されたニーズを総合して、高齢者の活躍・貢献領域を拡大することを目指しています。

令和5年度採択プロジェクト

ユニバーサル・フレンドリ・ファシリティが認知症の人と地域住民の社会参加向上とスティグマ軽減、ウェルビーイング向上にもたらす効果検証

- プロジェクト代表者：斎藤 民（国立長寿医療研究センター 老年社会科学研究部・部長）
- 採択分野：探索研究（2年間）
- 助成額：20,000,000円（予定）



産官学民の連携により、認知症などで社会生活機能に低下のある人々や地域住民が自然に参加したくなる施設を作り出すことで、認知症への偏見を減らし、誰もが幸福で健康に過ごせる社会を目指しています。

本事業の公募要領や提案方法については財団ホームページでご確認ください。また本事業に関する情報はメールマガジンにて順次配信します。ぜひメールマガジンにご登録ください。

長寿科学振興財団

検索

